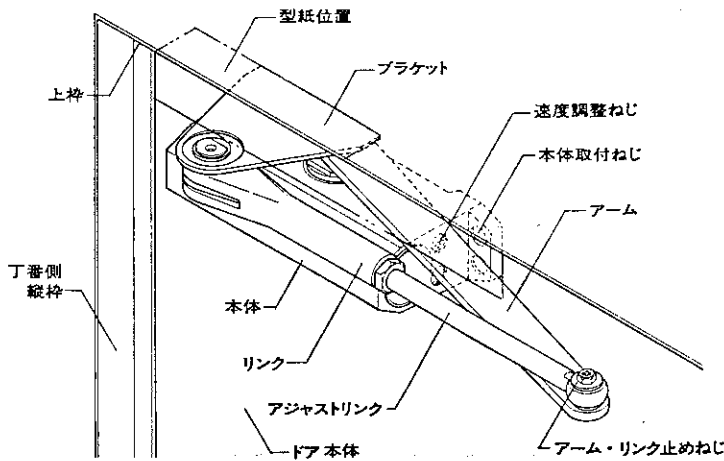


■お願い

- このクローザは、室内側に取付けます。
- 本説明書は、外観右吊元用で示してあります。左吊元の場合も、同じ要領で取付けてください。
- ドア及び、枠にクローザ取付け穴があいていない場合は、同梱の型紙を使って取付け穴をあけてください。

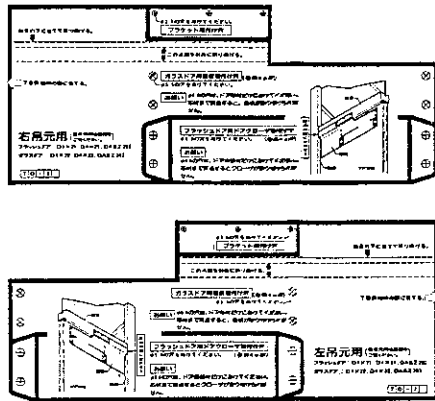
■各部名称及び速度調整ねじの向きについて

〈各部名称〉



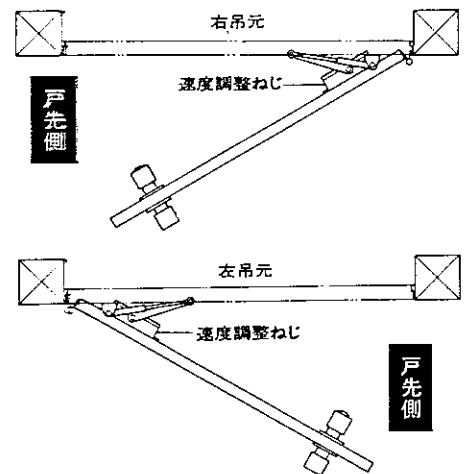
〈型紙〉

※表側が右吊元、裏側が左吊元です。
〔例〕ランマ付きドア用型紙



〈速度調整ねじの向き〉

- このドアクローザは、左右勝手兼用です。
- 取付けの際、速度調整ねじを戸先側にしてください。



■取付け順序

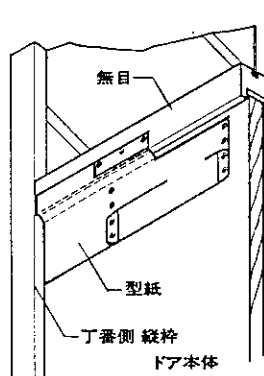
①取付け位置の決め方 (ドア及び枠に取付け穴がない場合)

※型紙は、フラッシュドア及びガラスドア兼用です。詳細は型紙に記載してある説明をご覧ください。

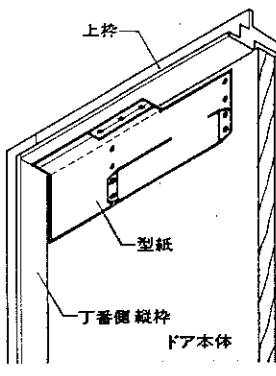
●フラッシュドアの場合

- ①型紙を指定の位置に当てます。
 - ②取付け穴個所にポンチングします。
 - ③ドア本体(ドアクローザ取付け部)はφ5.5、枠(ブラケット取付け部)はφ3.5の穴をあけます。
- ※この時、ドア本体の穴は、ドアの表面材だけにあけてください。
内部の木部まであけるとねじがきかなくなりますのでご注意ください。

●ランマ付きの場合



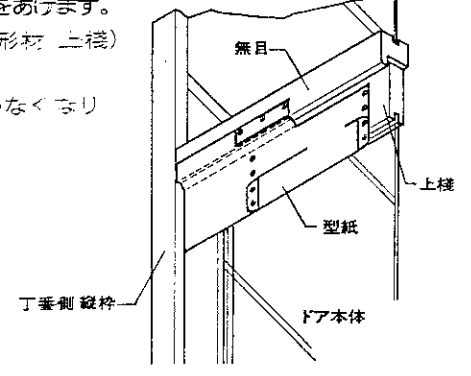
●ランマ無しの場合



●ガラスドアの場合

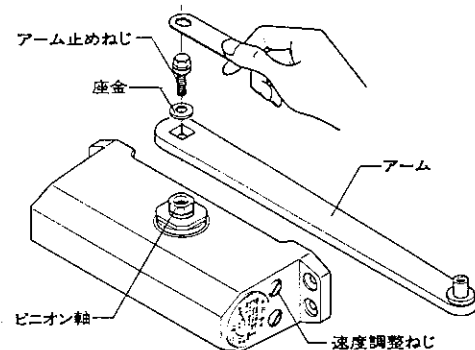
- ドア本体・上横部(座板取付け部)はφ5.5、枠(ブラケット取付け部)はφ3.5の穴をあけます。
- ※この時、ドア本体・上横部の穴は、形材(上横)だけにあけてください。
- 内部の木部まであけるとねじがきかなくなりますのでご注意ください。

●ランマ付きの場合



②アームの取付け

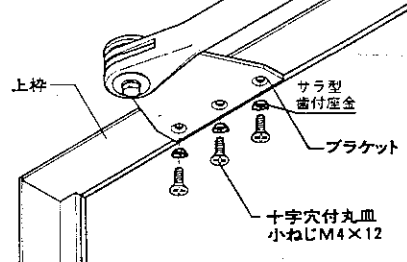
- ①速度調整ねじとアームの方向を下図のようにします。
- ②ピニオン軸にアームをきちとはめ込み、座金が密着するまでアーム止めねじを締め付けます。



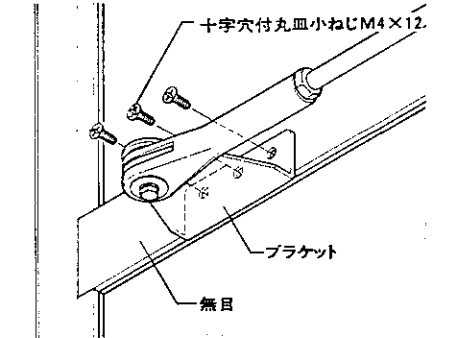
③ブラケットの取付け

- ①上枠の取付け穴に指定のねじでブラケットを取り付けます。

●ランマ無しの場合

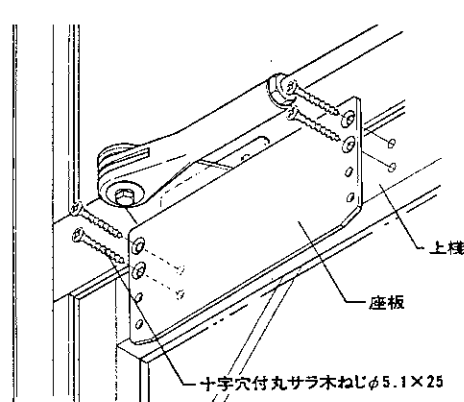


●ランマ付きの場合



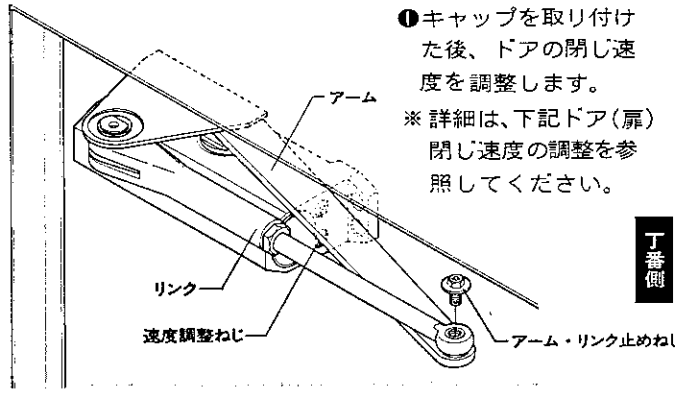
④座板の取付け (ガラスドアのみ)

- ①本体・上横部に座板を指定のねじで取り付けます。



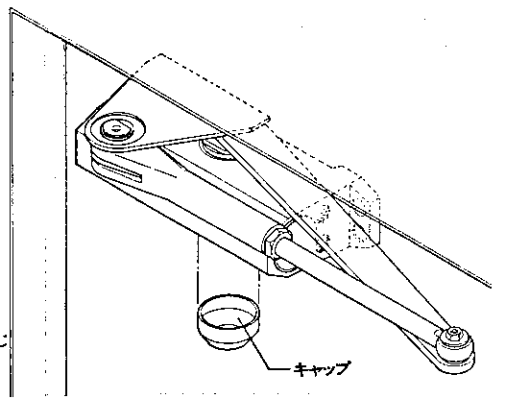
⑤本体の取付け

- ①本体を指定のねじでドアに取り付けます。
- ※速度調整ねじを戸先側にします。
- ②リンクをアームに差し込み、ボルトできつく締め付けます。



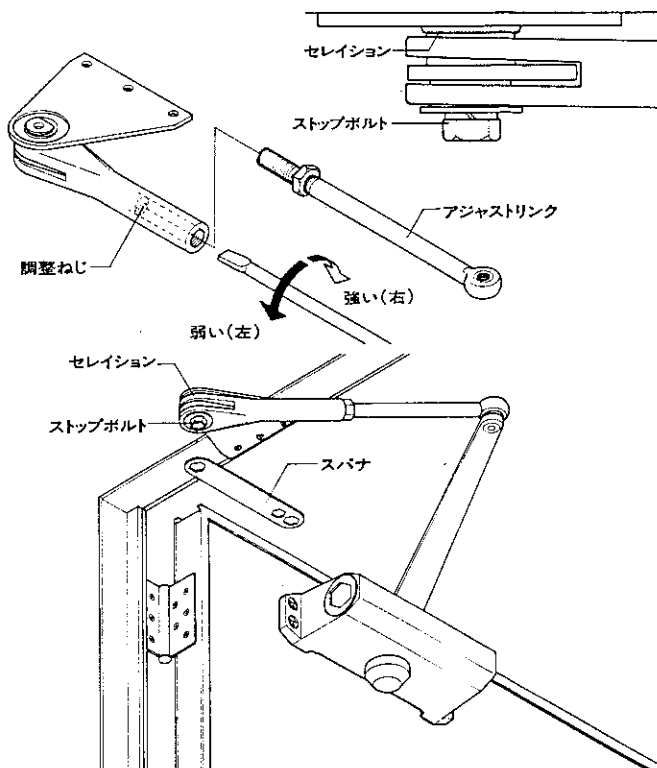
⑥キャップのはめ込みと速度調整

- ①キャップを取り付けた後、ドアの閉じ速度を調整します。
- ※詳細は、下記ドア(扉)閉じ速度の調整を参照してください。



■ストップ装置の調整方法について

- あらかじめストップの強さは調整済みです。
- 調整が必要な場合は、ストップ装置にねじ込まれているアジャストリンクを外し、調整ねじをドライバーで左右いずれかに回転します。
- 右に廻すとストップ力は強くなります。
- 左に廻すとストップ力は弱くなります。
- ※調整ねじは左右1回転以上まわさないでください。
- ドアをストップさせる角度まで開き、ストップボルトをスパナできつく締め付けます。
- 締め付ける時は、ストップ装置のセレクション部のかみ合いを確認してください。
- かみ合いの悪い場合は、ドアを少しゆすりながら、ストップボルトを締めてください。
- ストップ装置の締め付け力が不足していると、ストップ装置の故障の原因となります。



■ドア(扉)閉じ速度の調整

- 速度調整区間は、閉じ始めと閉じ終わりの2区間に分かれています。速度調整は、それぞれ個別の調整ねじで行います。
- 閉じ始めを調整した後、閉じ終わりを調整してください。
- 速度調整ねじを左右いずれかに1～2回転させます。適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで4～6秒位です。
- 危険防止のため、閉じる手前で速度を少し遅くしてください。

